



第35回全国「みどりの愛護」のつどい 功労者国土交通大臣表彰を受賞した松戸市内2団体が 松戸市長を表敬訪問

令和6年6月1日（土）に和歌山県和歌山市の和歌山城ホールで開催された、第35回全国「みどりの愛護」のつどいにおいて、東松戸ゆいの花公園利用促進協議会および松戸ハーブボランティアの市内2団体が、第35回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞し、以下のとおり松戸市長を表敬訪問いたします。

●表敬訪問

日時 令和6年6月21日（金）14時から

場所 松戸市役所新館5階 市民サロン

訪問者 東松戸ゆいの花公園利用促進協議会 会長 湯浅 隆雄（ゆあさ たかお）様
松戸ハーブボランティア 代表 林 みよ子（はやし みよこ）様

●受賞団体のプロフィール

（1）東松戸ゆいの花公園利用促進協議会（代表者：湯浅 隆雄）

東松戸ゆいの花公園※では、平成19年の開園当初から、ボランティアによる花壇の維持管理や音楽会、市主催の花や緑と触れ合うイベントを行ってきました。このような活動を束ね、公園の利活用をより発展・充実させるため、平成30年に地元町会とも連携し、都市公園法に基づく協議会を組織しました。

主な活動は、週1回の花がら摘みや水やり等の維持管理、年3～4回の季節ごとの花の植え付け、工夫を凝らした花壇のデザインに加え、

本公園や草花に関心を持ってもらうため、イベント時に来園者向けに花植え体験や園内の草花を利用した工作等の講座も行っています。また、園内のゲストハウスで定期的開催している無料演奏会では、来園者が緑と花に囲まれ、クラシック音楽を楽しめる癒しの空間を演出しています。



※東松戸ゆいの花公園の概要

ゆいの花公園の名称になっている「ゆいの花」には、「市民一人ひとりが『花』によって結ばれ、『花』を通じて輪が広がり、心の潤いや安らぎを感じてもらえれば」という思いが込められています。

松戸市東松戸1-17-1（JR武蔵野線・北総鉄道「東松戸駅」から徒歩8分）



やさシティ、まつど。
matsudo

(2) 松戸ハーブボランティア (代表者：林 みよ子)

松戸市にハーブを広め、ファンを増やすきっかけとなることを目指して、平成17年に市営金ヶ作育苗圃※内ハーブ園(約1,000㎡)の維持管理団体として発足しました。生育するハーブは各会員の苗の持ち寄りにより、ラベンダー等約100種類以上となりました。ハーブが織りなす風景で来場者の目を潤し、ハーブの香りで心が癒されることを願い、土づくりや挿し木等の年間の活動計画を策定し、毎月2回以上の作業を行っています。さらに、一部雑草と共存する実験エリアを設ける、苗をビニールハウスや自宅に持ち帰って冬越しする等、維持管理方法に工夫を凝らしながら、長年にわたり活動を継続しています。



また、市内公園での年4回のハーブ講座や、緑と花のフェスティバル等の緑化啓発イベントへの出展、ハーブの勉強会の開催など、精力的な活動で地域の緑化推進に貢献しています。

※金ヶ作育苗圃の概要

市内の緑化用樹木と花壇の草花の生産供給を目的に設置

松戸市金ヶ作247-2 (新京成電鉄「常盤平駅」北口から徒歩10分)

●全国「みどりの愛護」のつどいとは

「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、全国の緑の関係者が一堂につどい、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進するとともに、緑を守り育てる国民運動を積極的に推進していくことを目的として、平成2年より開催されています。

●行事内容

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰、和歌山県知事表彰、記念植樹 等

●行事参加者

全国みどりの愛護団体関係者、関係自治体等

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市街づくり部 公園緑地課 みどりの愛護のつどい担当室

☎ 047-710-4992 FAX047-710-4996

✉ mcaigo@city.matsudo.chiba.jp